

大阪Reportレポート

長野県大阪事務所・観光情報センター

Report Letter Vol. 11 (2023. 4. 5)



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

関西の今＜トピックス＞

● <2025年大阪・関西万博> 開幕まで2年 <https://www.expo2025.or.jp/>

- ・日本国内で開催される万博では過去最多となる153の国・地域が参加を表明。目標としていた150を超えた。今月からバビリオンの建設も始まる。
- ・大阪商工会議所を中心に近畿2府4県に福井県を加えた全71の商工会議所が、開幕まで2年となる今月から5月7日までを「万博PR強化月間」とし、集中的にイベントなどを展開する計画。

● <観光> コロナ前へと回復加速、インバウンドが寄与

- ・コロナ前へ加速、大阪の大相撲春場所がコロナ前の客席数に戻し、土俵祭りも有観客で開催、USJのパレードが2年ぶりに再開、大阪港・神戸港には3年ぶりに海外クルーズ船が寄港。
- ・2月の訪日客が147.5万人と3か月連続100万人超、大阪の主要ホテルの稼働率も約75%まで回復したこともインバウンドの寄与が大きいとの報道も。
- ・全国初で兵庫県がユニバーサルツーリズムを推進する条例を制定、今年度予算ではバリアフリーの工事費用や筆談タブレット等の備品購入費用を補助。



● <産業> 万博運用に向けて「空飛ぶクルマ」開発加速

- ・関西最後の一等地「うめきた2期」再開発区域地下に大阪駅地下ホームが開業、顔パス通過の「顔認証改札」や質問に答える「AIロボット」導入など近未来のショーケースに。再開発への期待から公示地価も大阪商業地が3年ぶりに上昇。
- ・空飛ぶクルマ、商社の丸紅が中心に、パイロット操縦による国内初の有人飛行を実施。ドイツの新興企業ボロコプター社は、万博で運用を目指す実物大モデルをうめきた商業施設で一般公開。



大阪での取り組みの今

最近のトピックスを紹介

● 「松川町ファーマーズ・マルシェ」(3/9-10:大阪駅前第1ビル地下2階)

⇒生産者の皆さんによる特産りんご「ピンクレディー®」や農家が醸造したシードル、ドライフルーツ、りんごのお菓子などの特産品を販売PR、当センターも出店し、おやきや牛乳パンなどを販売、アルクマも登場



●「おいしい信州フードの期間限定ショップ」

(3/9-17 大阪駅地下街Whity うめだ ポップアップショップ)

⇒上田市の事業者が、信州の代表的な郷土食「おやき」や「そば」、
「果物」など地域のセレクト品を期間限定で販売、「野沢菜」が
早々に完売する人気ぶり。



●「FDAでカンパイ！ニッポン はしご酒」(3/11-12:福岡天神エルガーラ・パサージュ広場)

⇒FDA の就航先、全国屈指の酒どころ（新潟・長野・山形・愛知・静岡・秋田・岩手・青森）
の地酒を振る舞いながら、路線や就航先の魅力を発信。信州の酒蔵からは
「千曲錦」が参加、ステージイベントでは「鏡割り」と春の信州観光の見所
楽しみ処を紹介。毎週土曜日朝の「さわやか信州レポート」でおなじみのRKB
毎日放送のラジオカーも駆けつけていただき、信州への空の旅と全国2番目の
酒蔵数を誇る個性豊かな信州のお酒をPR



●「くろよん 60 周年・信濃大町観光キャンペーン」

(3/23-24:大阪駅前第1ビル地下2階)

⇒60周年の「くろよん」黒部ダムの人気のお土産品
(黒部ダムカレーレトルト、電気バスチョコQ、
銘菓「雷鳥の里」等)の販売、特産品が当たるガラ
ポン抽選会など信濃大町の観光物産をPR～



●「事務所のディスプレイに大町市が登場！」

⇒今年60周年を迎える黒部ダムの歴史を映像で紹介、「破碎帯見学ツアー」
「黒部ダムタイトツアー」などのイベントをPR



●「こどもあきんD o」(3/21:北田辺所商店街)

⇒地元の小学生がお店のオーナーとなり、長野県をはじめ全国各県の特産品
・名産品を販売、仕入れから販売まで大人顔負けの商売で競い合う。



●「旅するSAKE」(3/29-4/3:阪急うめだ本店祝祭広場)

⇒今年は栃木の蔵元14歳とIWC受賞の全国の蔵元10歳が出展、
長野県からは2021年チャンピオン・サケ受賞の「諏訪御湖鶴酒造場」
が参加、高価格帯の酒が動くようになり、輸出も好調とのこと。



